
平成 30 年度
空き地対策の推進に向けた先進事例
構築モデル調査
報告書

平成 3 1 年 3 月

株式会社エンジョイワークス

目 次

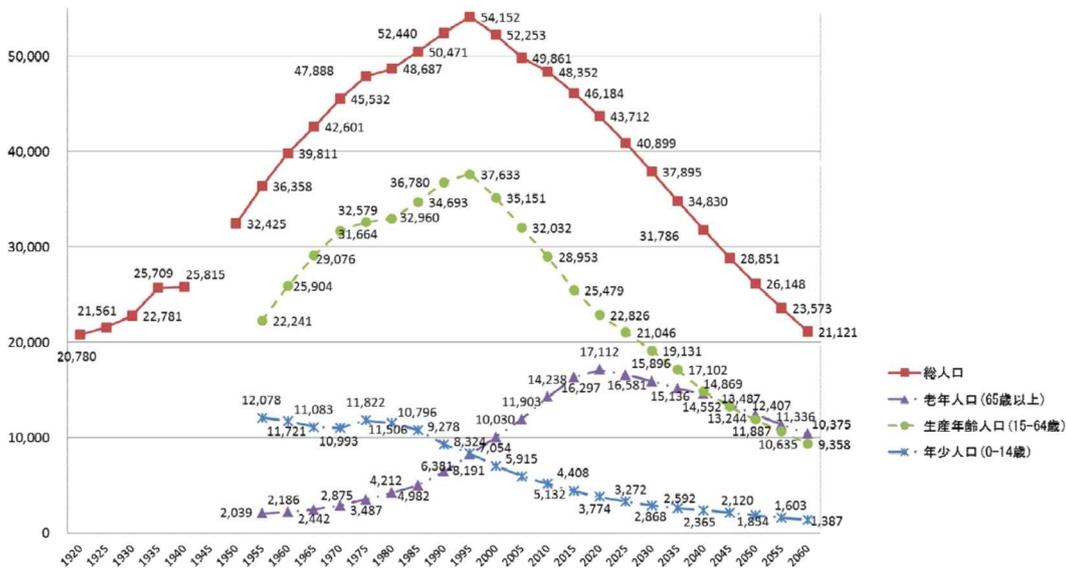
1. 事業概要について	1
(1) 事業の目的	1
(2) 事業概要	1
2. 実施事業内容の詳細について	2
(1) 構成事業者名及び役割分担(実施体制)	2
(2) 事業実施内容	3
(3) 事業実施スケジュール	23
(4) 業務の成果と課題	33
(5) 提言	33
3. 今後の活動に向けて	34

1. 事業概要について

(1) 事業の目的

三浦市は人口減少が顕著であり、日本創成会議・人口減少問題検討分科会の推計によれば、2018年3月時点の人口4万3,561人が、2030年には約3万8,000人(高齢化率42%)に達する見通しとなっており、人口減少に伴う空き家・空き地の増加も課題となっている。また、三浦半島の三方を海でかこまれた台地で育った農作物は「三浦野菜」として全国的に有名だが、地域資源として十分に活用しきれない現状もある。

本業務では、三浦海岸沿いの空き地にトレーラーハウスを設置し、農体験プログラムなどと合わせた宿泊事業としての立ち上げ、運営を検討することで、事業安定化を図るとともに、地域の関係人口の増加、及び将来的な移住増加に寄与することを目的とする。



出典：2010年までは国勢調査（1945年は未実施）、2015年以降は社人研の推計

三浦市の総人口及び年齢別人口の推移と推計

(2) 事業概要

本事業の特徴は、地域に愛着・興味を持つ人を増やし、ボトムアップ型のまちづくりに繋げていくことである。地域に愛着・興味を持つ人が本事業に関われる「参加の仕掛け」として、「1)ウェブ、SNSを活用した情報発信の実施」、「2)各種イベントの企画・運営」を行った。これらを通して得られた情報を踏まえて、「3)トレーラーハウス事業の検討・企画」を行った。当初は、3)の実施段階で「投資型クラウドファンディングの検討」を予定していたが、当初のトレーラーハウス事業のコスト調整の難航等の理由により、スケジュールが遅れたため、検討内容を変更した。検討内容変更の要因については、「(4)課題」に整理した。

2. 実施事業内容の詳細について

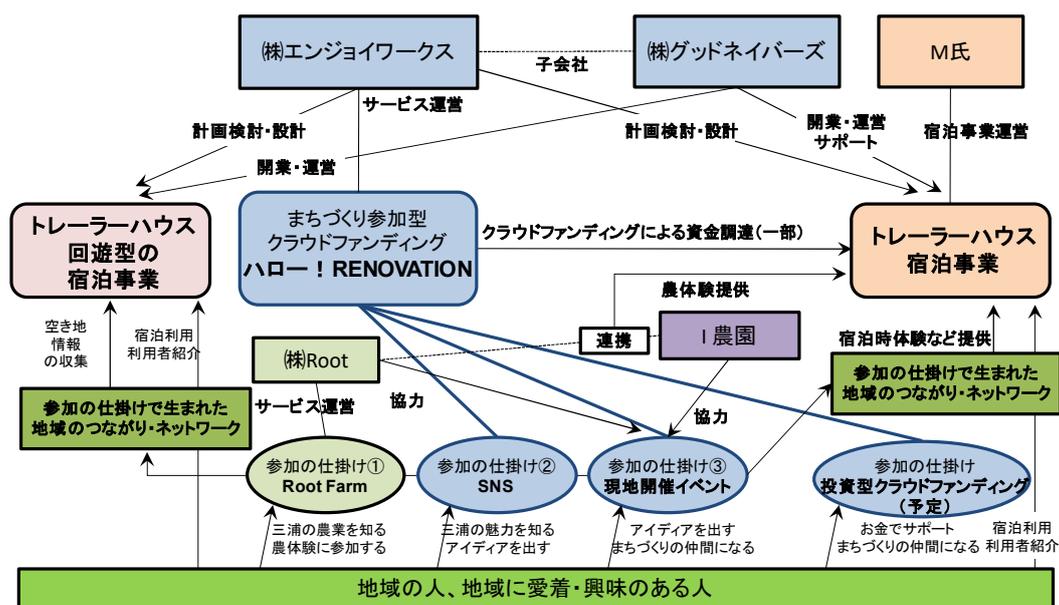
(1) 構成事業者名及び役割分担（実施体制）

本事業は、株式会社エンジョイワークス(子会社グッドネイバース)が事業主体となり、様々な農体験プログラム・事業を提供している株式会社Root、三浦の地元農家であるI農園、トレーラーハウス宿泊事業の運営主体であるM氏を構成員として事業を推進した。

当初の計画では、M氏が主体の「トレーラーハウス宿泊事業」を単体で行う予定であったが、イベント参加者からのニーズの聞き取り結果などを踏まえ、株式会社エンジョイワークスが主体となり、「回遊型のトレーラーハウス宿泊事業」も追加で計画することとなった。

【役割分担】

構成事業者名	担っている役割
株式会社エンジョイワークス	・トレーラーハウス宿泊事業(M氏主体)の計画検討・設計 ・回遊型のトレーラーハウス宿泊事業(エンジョイワークス主体)の計画検討 ・SNSを活用した情報発信 ・イベントの企画・運営 ・宿泊事業紹介用ウェブサイトの作成 ・各事業者のコーディネート
株式会社グッドネイバース	・宿泊事業の開業・運営サポート
I農園	・三浦野菜の農体験プログラムの提供 ・イベント協力
株式会社Root	・農体験等でのウェブサービス協力
M氏	・トレーラーハウス宿泊事業の運営主体



(2) 事業実施内容

1) ウェブ、SNS を活用した情報発信の実施

専用ウェブサイトの構築・運営、Facebook 等の SNS サービスの活用により、宿泊事業に関わるイベント等の効果的な情報発信を行い、本事業及び三浦市への興味・関心を高めた。

1) - 1 Facebook での発信

エンジョイワークスが運用するフェイスブックページ「ハロー！RENOVATION」にて、事業進捗やイベント開催に合わせて、事業紹介、イベントの予告・広報に関わる情報発信を行った。

フェイスブックでの情報発信一覧

発信日	目的	発信内容
10 月 12 日	事業紹介 第 1 回 イベント 広報	<p>【三浦コラボレーション① I 農園さん】</p> <p>エンジョイワークス濱口です！</p> <p>今度の日曜日は三浦海岸駅に集合ですよ。</p> <p>新プロジェクトとなるトレーラーハウスを使った宿泊事業を、単なる1つの施設計画にとどまらず、地域の盛り上げ要素にすべく、ただいま動いています。</p> <p>海あり山あり、三崎のマグロありと、多くの魅力がある三浦半島ですが、代表的な地域リソースと言えば、やはり「三浦野菜」ですよ。今回、その超強力な協力者として「I 農園」さんとコラボレーションしていきます。</p> <p>I 農園の代表、I さんからは多くのアイデアを頂戴し、次回以降のイベント企画も、楽しいものになっていきそうな予感です。I さん自らが育てている野菜に限らず、その他品種を育てている地元の繋がりも今後ご紹介いただくことで、より地域に根ざしたプロジェクトを目指していきたいと考えています。</p> <p>第一回イベント、10 月、旬の野菜は「カブ」とのこと。採れたて新鮮のカブをいただきながら、参加者みなさんと三浦半島の未来を考えていきましょー！</p> <p>10 月 14 日(日)開催イベント： 三浦海岸を歩いて、食べて、考えよう！ ～みんなでつくる三浦半島の未来～</p> <p>https://www.facebook.com/events/2206264152986425/</p> <p>(リーチした人数 391 人、エンゲージメント数 35、2 月 26 日現在)</p>
10 月 12 日	事業紹介 第 1 回 イ	<p>【三浦コラボレーション② 株式会社 Root さん】</p>

	<p>ベント 広報</p>	<p>エンジョイワークス濱口です！</p> <p>新プロジェクトとなるトレーラーハウスを使った宿泊事業、これを単なる1つの施設計画にとどまらず、三浦地域の盛り上げ要素にすべく動き、始めています。重要ポイントの1つに「三浦野菜」があると考えています。</p> <p>三浦の野菜を日々、美味しく食べられている方はいらっしゃると思いますが、そんな方でも、三浦でどんな野菜づくりがなされているかはあまり知らないのではないのでしょうか。それもそのはず、質の高い野菜をつくるため、農家の皆さんはプロ中のプロ。一般の方とはあまり接点がないのが通常です。</p> <p>今回、そんなプロフェッショナルの技にふれながら、多くの学びを得る機会提供を、IT の技術を使って実行されている「株式会社 Root さん」とコラボレーションします！</p> <p>Root Farm -畑をあそぼう[株式会社 Root]: https://root-farm.com/</p> <p>同 Facebook ページ: https://www.facebook.com/rootfarm.jp/</p> <p>現在、地元の I 農園さんと株式会社 Root さんによる連携事業がスタートしています。私たちのプロジェクトも、このサービス展開にさらに連動するかたちで、地域活性化につなげるべく推進していきたいと考えています！</p> <p>今度の日曜日は、株式会社 Root 代表の岸さんにもご参加いただき、サービスのご紹介もさせていただきますよ。「みうら会員」ってなんだろう？という方も、ぜひお気軽にご参加ください！</p> <p>10月14日(日)開催イベント: 三浦海岸を歩いて、食べて、考えよう！ ～みんなでつくる三浦半島の未来～</p> <p>https://www.facebook.com/events/2206264152986425/</p> <p>(リーチした人数 359 人、エンゲージメント数 28、2 月 26 日現在)</p>
<p>10 月 23 日</p>	<p>第 1 回 イベント 結果の報告</p>	<p>【三浦海岸を歩いて、食べて、考えてきました！】</p> <p>先週、三浦海岸を歩いて、食べて、魅力を考えよう！イベントを開催しました。当日は地元の方を中心に約 20 名にご参加いただきました。</p> <p>京急三浦海岸駅を出発し、海岸沿いを歩きながらトレーラーハウス型宿泊施設の計画地と一緒に見学。プロジェクトにご協力いただいている、I 農園さんでは、まさに採れたての蕪(イベントが開始されたその時間に、I さんが畑に行き収穫してきてくれたのです！！)を専用の機械で洗う</p>

		<p>様子を見学、I さんに三浦野菜と三浦農業の豆知識を教えていただき、参加者の皆様も新しい三浦を知れたと興味津々でした。</p> <p>そして三浦の海を一望する高台にある、プロジェクトリーダーMさんのお宅では、採れたての蕪をいただきながら皆さんの自己紹介や三浦についての想い、それぞれが考える三浦海岸の魅力を伺いました。</p> <p>既に三浦エリアで地域活性や、事業を始めていらっしゃる方から、三浦出身三浦育ちでまさにここが地元、という方まで、お集まりいただきました。一見、経歴や取り組みの内容はバラバラですが、三浦海岸というまちが好きで、もっと良くしたい、活性化させたいという共通の想いを持つ方々にお集まりいただき、三浦での事業が初めての私たちにとって、とても心強い出会いとなりました。</p> <p>同じ想いを持った方は仲良くなるのが早い！！皆さんあつという間に打ち解けて和やかに会は進みました。</p> <p>そして何より、採れたての蕪がおいしい！！甘みも瑞々しさも歯ごたえも。こんなにも違うものなのかと、改めて感動しました！！</p> <p>まだまだ三浦海岸初心者の私達、皆様に色々教えていただきながらまちを盛り上げる一員になれたらと思います。</p> <p>ご参加いただいた皆様、ご協力いただいたI 農園さん、株式会社 Rootさん、ありがとうございました！</p> <p>今後も三浦海岸プロジェクトに関連するイベントを随時行う予定です！ご期待ください。</p> <p>(リーチした人数 425 人、エンゲージメント数 82、2 月 26 日現在)</p>
11 月 16 日	第 2 回 イベント 広報	<p>【三浦で「食」イベントやります！】</p> <p>エンジョイワークスの運営する ハロー！RENOVATION からイベントのお知らせです。11 月 24(土) に三浦の「食」を考えるワークショップを開催します。お店単体だとか特定の名産品で終わるのではなくて、それらを互いにネットワークしたらどんな新しい食ムーブメントが生まれるか？っていう社会実験的な試みでもあるわけです。とても面白いと思うので気になる方はぜひぜひ三浦まで足を伸ばしてください。</p> <p>新鮮野菜の試食とお土産もありますから！</p> <p>スケジュールやお申し込み方法などは、こちらの HP からご確認をお願いします。</p> <p>https://hello-renovation.jp/news/detail/3789</p> <p>(リーチした人数 850 人、エンゲージメント数 56、2 月 26 日現在)</p>
11 月 27 日	第 2 回 イベント 結果の報告	<p>【三浦の食ネットワークは中々奥が深いぞ】</p>

	<p>三浦海岸でのイベント第2弾！「三浦の食をネットワークしよう」を開催しました。参加者の皆さんと一緒に三浦のおすすめの食を共有したり、こんな食体験があるといいのでは？と一緒に話し合ったりと、和やかな会となりました。</p> <p>ご協力いただいたのは三浦海岸と言えば！の宿泊施設マホロバ・マインズ三浦さん。海とその向こう側の房総半島が一望できる、素敵な会議室をお借りしました。</p> <p>そして会議のお供は豪華な三浦野菜たち！今回もI農園にご協力いただき、Iさんが農家仲間達と一緒に活動する、「野菜レンジャー」に、採れたての三浦野菜をご用意していただきました！採れたての野菜たちは瑞々しさが違います。文章で伝えられないのが残念！本当に驚くほどおいしいのです…</p> <p>そんな野菜を食しながら、皆さんからはおすすめの食情報がどんどん出てきます。</p> <p>「メロンと言えば〇〇農園だよね」 「駅前の直売所に売っている〇〇が絶品」 「実はあのお店はチェーンだけれど、三浦の地元の食材を使っている」 などなど地元の方ならではのコアな情報が盛りだくさん。 一言も漏らさぬよう必死にメモを取ってきましたよ。</p> <p>そして、「こんな食体験あったらいいよね」というアイデアもいただきました。</p> <p>✓地引網体験 ✓河津桜の時期の大根収穫体験 ✓三浦の郷土料理を農家や漁師さんが教えてくれる料理教室 ✓海岸での大根干物干し体験(つくった漬物は後程家に届く) こんな体験案から</p> <p>✓ペットと入れるドックラン付きのカフェをつくっては？ ✓廃棄野菜を使ったドッグフードはどう？ など、三浦をペットフレンドリーな場所にするアイデアまで。</p> <p>何だか実現可能そうなアイデアも多く、大変盛り上がりました。</p> <p>最後に印象的だったのは「三浦はしみじみと感じる良さがあるんです」というお言葉。一見すると何もないように見えがちですが、住んでみると自然に恵まれていて、美しい海の景色と畑の風景、そしておいしい食材が身近にある。暮らしに溶け込むようなしみじみとした良さが三浦らしさなんだそうですよ。</p> <p>次回のイベントは12月22日(土)！お楽しみに！</p> <p>(リーチした人数 495 人、エンゲージメント 62 数、2月26日現在)</p>
--	---

12月12日	第3回イベント予告	<p>地元の方や三浦が好きな方と一緒に、三浦の魅力を深掘りしよう！イベント第3弾！！今回は、三崎港エリアで開催します！</p> <p>旅レシピとは、その土地ならではの体験やスポットを挙げて1日の過ごし方やそのテーマを考えることです。</p> <p>たとえばガイドブックには載っていない路地、住んでから知った意外な絶景ポイント、昔から変わらないあのおやじの味、狙って買いに行く直売所の新鮮な野菜や果物…。三浦に暮らす人が知っている、日常の中のとっておきの「体験」を持ち寄り、みんなで「観光しない三浦の旅レシピ」を作りませんか？</p> <p>私はまだ、三浦の魅力を中々語れない！という方も気にせずご参加ください。三浦が好き、気になる！という「想い」を持ち寄っていただければ大丈夫です！これまで2回のイベントで参加者さんから頂いた、三浦の魅力や三浦らしい食情報もレシピの材料として共有しますので、気になるスポットや体験を繋ぎ合わせながら、こんな過ごし方出来たら楽しいかも？を一緒に考えましょう！</p> <p>地域の方はもちろん、移住をご検討されている方や三浦での2拠点居住に興味がある方などは、ぜひ、三浦への小トリップがてらご参加ください。朝から三浦海岸を散歩、三崎港で海鮮を食べて、おやつを片手にイベントに参加！なんて過ごし方もおすすめですよ。</p> <p>会場は夫婦で「アタシ社」という出版社を運営されている、ミネご夫婦が営むおしゃれな蔵書室「本と屯(たむろ)」さん。一年ほど前に逗子から三浦に移住したというミネさんにも、暮らしてみても感じる「観光しない三浦」体験を伺いたいですね。</p> <p>【イベント詳細】 日時:12月22日(土)13:30~15:30 場所:「本と屯(三崎港／蔵書室)」神奈川県三浦市三崎3丁目3-6 定員:20名 参加費:無料 主催:株式会社エンジョイワークス 協力:I 農園、株式会社 Root 申込:下記フォームよりお申込みください。 https://ws.formzu.net/fgen/S19056394/ ※Facebookの参加予定ボタンでは申し込みとはなりません。必ずフォームからお申込みいただく様お願いいたします。</p> <p>【三浦海岸トレーラーハウスプロジェクト】 ハロー！RENOVATIONの次なる舞台の一つが三浦海岸！ 海岸沿いの空き地を利活用、トレーラー型宿泊施設をつくるプロジェクトです。</p>
--------	-----------	--

		<p>このプロジェクトをきっかけに三浦のまちをもっと盛り上げたい！という熱い想いを持った地元のプロジェクトリーダーさんと一緒に、この地域を今後さらに、盛り上げていきたいと考えています</p> <p>(リーチした人数 377 人、エンゲージメント数 3、2 月 26 日現在)</p>
12 月 15 日	第 3 回 イベント 広報	<p>【三浦の魅力はもちろんマグロだけじゃない。】</p> <p>ハロリノイベント IN 三浦 第 3 弾は 12 月 22 日(土)13:30 から！</p> <p>例えば、三浦海岸の長い砂浜、直売所ごとに置いているものが全く違う三浦野菜、大規模な畑の先に見える富士山、三崎の朝市・・・</p> <p>地元の人だから、三浦が好きな人だからこそ知っている、観光ガイドには載っていない日常の景色や体験を持ち寄り、三浦で過ごす 1 日を、どんなルートでどんな体験を組み合わせにしたら楽しいか、そんな「観光しない旅のレシピ」をみんなで考えましょう！！</p> <p>会場是三崎のおしゃれな蔵書室、本と屯(三崎港／蔵書室)をお借りします！！</p> <p>もちろん、三浦に住んでいない方も、お気軽にご参加ください。朝は三浦海岸をお散歩、お昼は海鮮を楽しみ、午後はイベントに参加！というショートトリップもおすすめです♪</p> <p>イベント詳細&お申込みはこちら</p> <p>⇒https://www.facebook.com/events/358866594922482/</p> <p>(リーチした人数 583 人、エンゲージメント数 75、2 月 26 日現在)</p>
12 月 25 日	第 3 回 イベント 結果の 報告	<p>【三浦で過ごす観光しない 1 泊 2 日】</p> <p>先日、三浦の魅力を深掘りしようイベント第 3 弾「三浦版！観光しない旅のレシピをつくろう」イベントを開催しました。</p> <p>今回は三崎港エリアにて開催。</p> <p>会場にお借りした、本と屯(三崎港／蔵書室)は店主のミネさんが揃えた本や雑誌が並び、想像以上にワクワクする素敵な空間でした。</p> <p>この空間に感性を刺激されながら、参加者の皆さんには 1 泊 2 日観光しない三浦の旅をコーディネートしていただきました。</p> <p>その一部をご紹介します。</p> <p>「週末のカップルプラン」</p> <p>1 日目は、実はシーカヤックの聖地だという三浦海岸でのシーカヤック(+魚釣り)と、釣った魚と直売所でゲットした珍しい野菜で BBQ。</p> <p>2 日目は日の出を見るために早起き、そのまま金田の朝市に出かけ、B 定食(A じゃなくて B!)を食べる。三浦に 5 か所あるという灯台を巡りながら、泥棒も足がすくみ、すぐ捕まってしまうような恐ろしい崖「盗人狩り」で距離を縮めた後は、最後に諸磯灯台でプロポーズを！</p>

		<p>「都会の OL のための金曜夕方プラン」</p> <p>地元の方だからこそ知る夕日スポット、三浦海岸の某コンビニの駐車場から畑越しの富士山と夕日鑑賞からはじまり、漁師食堂で夕飯。</p> <p>2 日目は地元で人気のパンが宿に届けられ、近くの直販所から仕入れた野菜と一緒に手作りディップ & ジャムで朝食を。三浦の大規模農園で収穫体験をした後は、実は○○な三浦を体験ということで、「三浦地層巡り」「撮影スポット巡り」「戦争歴史スポット訪問」などディープな三浦に潜り込む時間に・・・</p> <p>どれも魅力的な個性あふれるコースが出来上がりました。</p> <p>自分が住んでいる地域の素敵なところをみんなで探していくと、あっといふまに「わかるわかる！」と共感の渦が広がり、その場が熱い空気に満たされていくのが印象的でした。</p> <p>皆さんにいただいた「観光しない旅のレシピ」は三浦に来られる宿泊者の方々にシェアできるようにしていきたいです！</p> <p>(リーチした人数 512 人、エンゲージメント数 85、2 月 26 日現在)</p>
2 月 22 日	<p>空き地問題、本プロジェクトの説明</p> <p>第四回イベントの予告</p>	<p>【3/3 イベント開催決定。三浦の空き地にトレーラーハウスで泊まる】</p> <p>皆さん、空き地”問題、ご存知でしょうか。空き”家”ではないですよ。管理が放棄され、雑草が生い茂り、虫・ぼやの発生など、問題空き”地”が全国で急増しているのです。。。</p> <p>三浦プロジェクトのターゲットは、そんな「空き”地”」たちです。</p> <p>本プロジェクトでは、三浦半島の空き地を活用したトレーラーハウス事業を計画中です。</p> <p>「産地直採！畑横の空き地で朝どれ野菜」</p> <p>「オーシャンビュー！海岸沿い空き地で朝からフィッシング」</p> <p>魅力を秘める空き地をホッピングし、三浦の土地を最大限楽しめる企画を妄想中です。</p> <p>当プロジェクトは、国土交通省の空き地対策に関する先進事例構築モデル調査に選定されており、先日も、成果報告会に参加して、プロジェクトの進捗状況を報告してきました。(写真 1 枚目)</p> <p>委員の方からは、トレーラーハウスの機動性を活かして、三浦の空き地をネットワーク化することへの期待の声などをいただきました。</p> <p>http://www.mlit.go.jp/.../press/totikensangyo02_hh_000113.html</p> <p>今後は、空き地×トレーラーハウスで何が生まれるか！どう実現させるか！などなど、具体的な検討フェーズに移ります。</p> <p>3 月 3 日(日)には、トレーラーハウスお試し体験イベント！を開催いたします。</p> <p>https://www.facebook.com/events/316345135751967/</p>

		<p>空き地活用・トレーラーハウス・三浦の活性化、一つでもご興味がある方、ぜひご参加ください！</p> <p>#三浦半島 #空き地 #トレーラーハウス #地域活性化</p> <p>(リーチした人数 577 人、エンゲージメント数 80、2 月 25 日現在)</p>
2 月 25 日	第四回イベント広報	<p>【絶景が日常。なんてこった@三浦】 3 月 3 日(日)開催。 「トレーラーハウスを使った空き地の活用を考えよう！」の打ち合わせと、会場となる三崎港近辺の下見に行きました！ ▼【参加者募集中！】イベントページはこちら https://www.facebook.com/events/316345135751967/</p> <p>漁業も農業も盛んでおいしい食と魅力的なスポット、都心も遠くないこの地域には移住をしてくる方も多そうです。 夕暮れを迎えようとする頃。 打ち合わせに向かう道中なのに、夕日に照らされる広大な大地に思わず目を奪われます。 この事業に関わらせていただき、三浦エリアの魅力を心身ともにビンビン感じています！</p> <p>みなさん、この場所をトレーラーハウスに乗って、「思うがままに旅してみたら」すてきだと思いませんか？</p> <p>何それ、どういうこと！？と、思ったみなさま。イベントで一緒にアイデアを膨らませましょう！</p> <p>イベント当日は、空き地の利活用とトレーラーハウスでの宿泊スタイルをテーマに参加者の方と新しい三浦の旅をご提案。より深く考えていきます。</p> <p>これまで三回のイベントを通じて、地元の人だからこそ知るおすすめスポットを教えていただきました。</p> <p>そうなんです。三浦の楽しさはまだまだ奥深いんです。</p> <p>当日はトレーラーハウス「ルーメット」がいよいよ登場しますよ！</p> <p>活用したい土地があるオーナーの方も募集中です！</p> <p>会場でお待ちしております♪</p> <p>(リーチした人数 335 人、エンゲージメント数 41 人、2 月 25 日現在)</p>

1) - 2 チラシでの発信

イベントの広報用に、イベント紹介用のチラシを作成し、配布を行った。作成したチラシを次頁以降に示す。

チラシ配布枚数

イベント	配布枚数
第一回イベント	5,900 枚
第二回イベント	5,900 枚
第三回イベント	7,000 枚
第四回イベント	10,580 枚



Think about Miura Coast



三浦海岸を 歩いて、食べて 考えよう!

みんなでつくる三浦半島の未来

Date. 2018年10月14日(日) 13:00~16:00

Place. 三浦海岸駅(改札外) 13:00 集合

今度の日曜日、ちょっとだけ自分たちの「まち」について考えてみませんか。

皆さん「三浦海岸」エリアの魅力って何でしょうか？
どんなまちになったら、もっと楽しくなるでしょうか？

私たちエンジョイワークスは、地元のMさんと一緒に、この地域を今後盛り上げていきたいと考えています。例えば、トレーラーハウスを使った宿泊施設をつくってみようとか、農業をテーマに冬でも人を呼び込める仕掛けができないだろうかなど、まさに楽しいアイデアが生まれようとしているところです。

ただ私たちだけでは、まだまだアイデア不足。ぜひ、みなさんのお話を聞かせてください。当日はウォーキングしながら三浦海岸を歩いてめぐり、三浦野菜を食べながら、楽しく交流できればと考えています。まずは10月14日13時に三浦海岸駅改札にお集まりください!

※当日ご参加も受け付けますが、左下QRコードより詳細ご確認の上、事前のご参加申込みも可能です。



三浦海岸駅からのウォーキング、まちめぐり



三浦野菜を食べながら、三浦半島の今後についてアイデア出しミーティング

詳細は
こちらから



主催：株式会社エンジョイワークス 協力：I:農園、株式会社 Roof

お問い合わせ ✉ Info@enjoystyles.jp / ☎ 0467-53-8583

※当イベントは国土交通省により採択された「平成30年・空き地対策の推進に向けた先送事例構築モデル調査」により実施しています。

配布したチラシ：第一回イベント



日時 11月24日(土) 13:30~17:00 (開場13:00)

会場 マホロバマインズ三浦・別館

参加費 無料 ※事前申込み制

※ お電話 (0467-53-8583)、メール (info@enjostyles.jp) でもお申込みいただけます。お気軽にご連絡ください。

お申込みは
こちらから



ハロー! RENOVATION の次なるプロジェクトの舞台が、三浦海岸です!
地元のみなさんと一緒に、この地域を今後さらに、盛り上げていきたいと考えています。

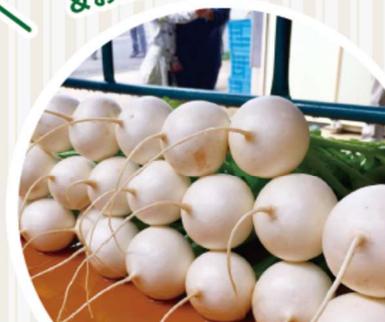
今回のテーマは「食」。

みなさんはどんな三浦の「食」を楽しんでいますか?
近所の畑で分けてもらった新鮮な野菜。早朝、海で釣ったお魚。
知る人ぞ知る、路地裏の居酒屋やカフェ。
馴染みのお肉屋さんで買ったコロッケ…。

みんなの頭の中に点在する三浦の「食」とそれに関わる「人」を
大きな地図に書き出し、オリジナルの「食」マップをつくっていきます。
三浦エリアで飲食に携わる方はもちろん、一般の主婦の方、学生さん、
ご家族でのご参加も大歓迎です。

さらに、野菜鮮隊ベジレンジャーさんご提供の採れたて三浦野菜もお楽しみの一つ。
参加者のみなさんには、お土産もお持ち帰りいただけますよ。

三浦野菜のたっぷり試食
& お土産つき!



主催：株式会社エンジョイワークス 協力：野菜鮮隊ベジレンジャー、株式会社Root

お申込み・お問い合わせ ☎ 0467-53-8583 / ✉ info@enjostyles.jp

※当イベントは国土交通省により採択された「平成30年・空き地対策の推進に向けた先進事例構築モデル調査」により実施しています。

配布したチラシ：第二回イベント



会場は「アタシ社」という出版社を運営されている、ミネご夫婦のおしゃれな蔵書室「本と屯（たむろ）」さん。一年ほど前に逗子から三浦に移住したというミネさんにも、暮らしてみても感じる「観光しない三浦」体験を伺いたいですね。

みんなでつくろう！ 観光しない旅レシピ

三浦版

日時 12月22日(土) 13:30~15:30
会場 本と屯(たむろ)(三浦市三崎3丁目3-6)
参加費 無料 ※事前申込み制

お申込みは
こちらから



※お電話 (0467-53-8583)、メール (info@enjostyles.jp) でもお申込みいただけます。お気軽にご連絡ください。



EW
ENJOY WORKS
事業企画部 濱口、稲葉

**地元の方や
三浦が好きな方と一緒に、
三浦の魅力を深掘りしよう！**

イベント第3弾!!
今回は、三崎港エリアで開催します！

旅レシピとは、その土地ならではの体験やスポットを挙げて、1日の過ごし方やそのテーマを考えることです。たとえばガイドブックには載っていない路地、住んでから知った意外な絶景ポイント、昔から変わらないあのおやじの味、狙って買いに行く直売所の新鮮な野菜や果物！
三浦に暮らす人が知っている、日常の中のとっておきの「体験」を持ち寄り、みんなで「観光しない三浦の旅レシピ」を作りませんか？

私はまだ、三浦の魅力の中々語れない！という方も気にせずご参加ください。三浦が好き、気になる！という「想い」を持ち寄っていただければオーケー！これまで2回のイベントで参加者さんから頂いた、三浦の魅力や三浦らしい食情報もレシピの材料として共有します。気になるスポットや体験を聞き合わせながら、こんな過ごし方出来たら楽しいかも？を一緒に考えましょう！

AREA RENOVATION とは？

エンジョイワークスが運営する、空き家・空き地等の再生・利活用特化した、まちづくり参加型クラウドファンディングサービスです。
今回、三浦海岸の空き地を利用したトレーラーハウス宿泊事業が地元の松本さんによりスタートしました。
地域の人、地域に愛着・興味のある人と一緒にこのプロジェクトを盛り上げていくため、当イベントを開催します。



主催：株式会社エンジョイワークス 協力：農園 株式会社 Root
 お申込み・お問い合わせ 0467-53-8583 / info@enjostyles.jp

※当イベントは国土交通省により採択された「平成30年・空き地対策の推進に向けた先進事例構築モデル調査」により実施しています。

配布したチラシ：第三回イベント

三浦の魅力発信・経営者向けイベント
第4弾!

Use the VACANT lots using TRAILER HOUSES!
トレーラーハウスを使った
空き地の活用を考えよう!

AREA RENOVATION とは?

エンジョイワークスが運営する、空き家・空き地などの再生・利活用を特化した、まちづくり参加型クラウドファンディングサービスです。
三浦半島の空き地を活用したトレーラーハウス宿泊事業の可能性を探る、シリーズ企画。地域の人・地域に愛着・興味のある人と一緒にこのプロジェクトを盛り上げていくために、当イベントを開催します。



会場となる「本と屯」を運営するのは
夫婦出版社「合資会社アタシ社」代表ミネシゴさん
当日はミネさんに三浦の暮らし体験についてお話しします!



日時 2019年3月3日(日) 14:30~17:30
会場 本と屯(たむろ) (三浦市三崎3丁目3-6)
参加費 1,000円 ※事前申込み制

お申込みはこちらから!
お電話: 0467-53-8583
メール: info@enjostyles.jp
からもお申込みいただけます。お気軽にご連絡ください。



過去三回のイベントでは、三浦市内外の方々といっしょに、観光ガイドブックには載っていない新しい三浦の旅をワークショップ形式で考え、「三浦の旅レシピ」を完成させました!

今回のイベントでは、完成した三浦の旅レシピを発表させていただくとともに、現在エンジョイワークスが構想中の、三浦半島の空き地を転々としながらトレーラーハウス(ルーメット)に泊まるという新たな宿泊・滞在の企画をご紹介します!

とはいえ企画はまだまだはじまったばかり。
空き地 × トレーラーハウスという組み合わせでどんな面白い体験ができそうか、参加者のみなさんといっしょに掘り下げたいと思います。
後半は屋外へ繰り出し、ルーメットを使ってお試し体験イベントを行います。
空き地のルーメットを囲み、みなさんと軽食やドリンクを楽しみましょう!

空き地オーナー募集!
現在、三浦半島エリアの空き地提供者を募集しています。自然環境が豊かな場所、風景の美しい場所など大歓迎!
ご興味のある方は、ぜひ「info@enjostyles.jp」までご連絡ください。

イベント内容

- 三浦の旅レシピ発表会&深堀りトーク
- トレーラーハウス × 空き地の旅事業構想を説明 & アイデア座談会
- トレーラーハウスお試し体験(屋外)

こんな方にオススメのイベント!

- トレーラーハウスを活用した旅に興味がある
- 三浦エリアの知られざる魅力を掘り下げたい
- 空き地を持っていてぜひ活用したい

トレーラーハウス
お試し体験!



主催: 株式会社エンジョイワークス
協力: 本と屯
お申込み・お問い合わせ 0467-53-8583 / info@enjostyles.jp
※当イベントは国土交通省により採択された「平成30年度・空き地対策の推進に向けた先進事例構築モデル事業」により実施しています。

配布したチラシ: 第四回イベント

1) - 3 WEB サービス「RootFarm」との連動

農体験プログラムの提供先として株式会社 Root と提携した。株式会社 Root が提供するウェブサービス「RootFarm」では、遠隔とリアルを組み合わせた畑体験サービス、ドローン遠隔撮影を活用した畑フォトコンテスト、ワンコインでの収穫体験など、様々な農体験プロジェクトを提供している。



コンテンツ会員

■ 月額プラン : ¥500/月 (税抜)

■ 年間プラン : ¥5,000/年 (税抜)

■ サービス内容

【①】 配送/収穫 : 一回500円 (初回無料) で、畑の共用スペースの「旬の野菜の収穫」ができます。野菜の配送の注文も可能です。

【②】 専用アプリ : 各地の畑の様子を、ダイアリーやまなびコンテンツとして、お楽しみ頂けます。

【③】 イベント : 各地の畑で毎月行われるイベントに、無料もしくは優待価格で参加できます。

【④】 ビジット : 畑で、お茶を飲んだりヤギさん達と遊んだりできます。

出典:<http://root-farm.com/>

WEB サービス「RootFarm」

2) 各種イベントの企画・運営

宿泊事業や農体験プログラムの企画、宿泊施設づくり等を目的として、全4回のワークショップ型イベントの企画・運営を行った。イベントの集客には、1)で示した、SNS やチラシでの継続的な情報発信を通して、複数回イベントに来てくれるようなコアなファンも獲得した。

2)- 1 第一回イベント:「三浦海岸を歩いて、食べて、考えよう」

三浦海岸駅に集合し、計画空き地を見学しながら、海岸沿いをまち歩き、採れたてのカブを食べながら、参加者から地元の魅力等についてヒアリングを行った。

参加者:20名 (うち大人14名)

・SNS告知による参加:11名 (自社運営 Facebook のみ)

・新聞折込チラシによる参加:9名 (近隣 5,900枚折込み)

参加者からのヒアリング結果

・三浦海岸駅の駅前があまりキレイでない点が問題だと思う。

旅のスタート地点として駅前の雰囲気は重要。(地元居住者)

・雨の日に遊べる場所が少ない。雨の日は、横須賀市街まで遊びに行っている。

(地元ご家族での参加者)

・野菜の「直売所マップ」があったら、面白いと思う。地元の間は、野菜の種類によって、直売所も使い分けている。(地元ご夫婦)

・三浦半島をトレッキングで横断するのは楽しい。東西両方の海や眺めを体験できる点は、半島ならではの魅力。(遠方参加者)

・三崎のまちに比べると、魅力的なポイント間の距離があるため、レンタサイクルで巡るコースは相性が良いと思う。また、そうすれば、ある程度、離れた場所であっても面白い場所をつくれれば、人が来てくれるだろう。(三崎のまちづくり関係の方)



第一回イベントの様子

2)- 2 第二回イベント:「三浦の“食”ネットワークをつくろう！」

第一回イベント(幅広く地域の課題や魅力をヒアリングした内容)から進展し、具体的に地元の人が提供している三浦の「食」にテーマを絞って、三浦「食」マップを、参加者と一緒に作成した。

参加者:7名

- ・SNS 告知による参加:2名 (自社運営 Facebook のみ)
- ・新聞折込チラシによる参加:3名 (近隣 5,900 枚折込み)
- ・前回参加者:2名

参加者からのヒアリング結果

- ・三浦海岸駅まわりの活性化、食に興味があります。前回イベントと比べて、全員で一つ的话题を語り合えたのでよかった。(地元居住者)
- ・三浦海岸の良いところはたくさんあるなど改めて感じた。(地元居住者)
- ・三浦半島の活性化について再認識できた。(地元居住者)
- ・いろいろな三浦を知りたくなった。(地元居住者)
- ・三浦に移住を考えており、当プロジェクトに興味があった。まだまだ未知数の三浦をみなさんと話し合えて楽しかった。(遠方居住者)

イベント実施内容・タイムスケジュール

当日 スケジュール	実施予定日を記載	
	12:30	会場準備開始
13:00	受付開始	
13:30	はじめの挨拶(イベントの趣旨説明、協力者紹介、イベントの流れ) (15分)	
13:45	自己紹介&おすすめ「食」紹介 → 地図にポストイットして、現在の「食」マップ作成 (45分)	
14:30	休憩&手洗い (5~10分)	
14:40	ベジサンドづくり (10分)	
15:00	ベジサンドを食べながら、朝食アイデアブレスト (10分)	
15:10	未来の「食」マップに向けてのアイデアブレスト (10分)	
15:20	こんな「食体験」あったらいいな、ワークショップ(30分) 6~8人×5グループ	
15:50	発表(20分)	
16:10	次回予告、ハロリノ&クラウドファンディング紹介(10分)	
16:20	交流会(30分)	
16:50	解散&片付け (会場は18時までの予約)	



第二回イベントの様子



三浦「食」マップ

2)- 3 第三回イベント:「みんなでつくろう! 観光しない旅レシピ」

第二回イベントにおいて、「食」に限らず、三浦らしい体験に関するニーズが多くでてきたため、日常の中で感じる魅力的なスポット・体験情報を交換して、三浦らしさが詰まった「旅のレシピ」を作成した。

参加者：9名

- ・SNS 告知による参加：1名（自社運営 Facebook のみ）
- ・新聞折込チラシによる参加：1名（近隣 7000 枚折込み）
- ・前回参加者、関係者：7名

参加者からのヒアリング結果

- ・知らない三浦の魅力がまだまだあることが分かり楽しかった。（地元居住者）
- ・三浦の町づくりに興味がありました。「観光しない旅」というワードもよかったです。
- ・三浦市在住ですが知らないことばかりです。三浦の素敵をずっと続けてください。（地元居住者）
- ・まだ知らない町の魅力を知れて楽しかったです。ますます三浦が好きになれそうです。（地元居住者）
- ・三浦に住んで一年になりますが、盛り上がる可能性をすごく感じています。こうしたイベントに参加したいと思っていました。（地元居住者）

イベント実施内容・タイムスケジュール

時間	実施予定日を記載
13:00	会場準備開始
13:30	はじめの挨拶(イベントの趣旨説明、協力者紹介、イベントの流れ) (15分)
13:45	ミネさんご紹介 & コメントをいただく(10分)
13:55	ワークショップ プレスト&自己紹介 (15分) 4人×5チーム
14:10	ワークショップ(観光しない旅のレシピを考える)(30分) 4人×5チーム
14:40	休憩(10分)
14:50	発表(15分)
15:05	今後の予定 & クラウドファンディングなど(15分)
15:20	終了
16:00	片付け&撤収



第三回イベントの様子

完成した旅レシピ①：「週末のカップルプラン」

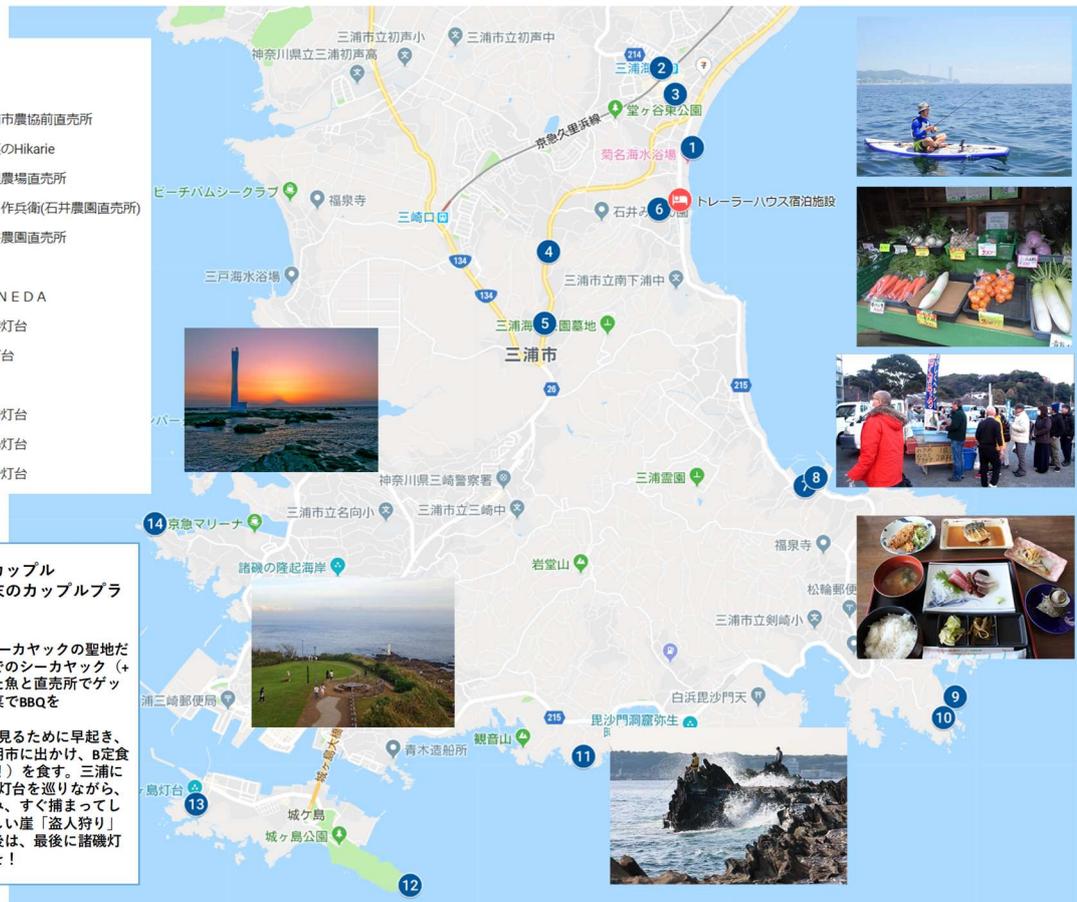
PlanA

- ① 三浦海岸
- ② 直売所巡り/三浦市農協前直売所
- ③ 直売所巡り/野菜のHikarie
- ④ 直売所巡り/高梨農場直売所
- ⑤ 直売所巡り/ザ・作兵衛(石井農園直売所)
- ⑥ 直売所巡り/石井農園直売所
- ⑦ 金田湾の朝市
- ⑧ レストランKANEDA
- ⑨ 灯台巡り/間口港灯台
- ⑩ 灯台巡り/鷗崎灯台
- ⑪ 盗人狩
- ⑫ 灯台巡り/安房崎灯台
- ⑬ 灯台巡り/城ヶ島灯台
- ⑭ 灯台巡り/諸磯灯台

ターゲット：カップル プラン名：週末のカップルプラン

1日目は、実はシーカヤックの聖地だという三浦海岸でのシーカヤック(+魚釣り)。釣った魚と直売所でゲットした珍しい野菜でBBQを

2日目は日の出を見るために早起き、そのまま金田の朝市に出かけ、B定食(AじゃなくてB!)を食べ。三浦に5か所あるという灯台を巡りながら、泥棒も足がすくみ、すぐ捕まってしまうような恐ろしい崖「盗人狩り」で距離を縮めた後は、最後に諸磯灯台でプロポーズを!



完成した旅レシピ②:「都会のOLのための金曜夕方からプラン」

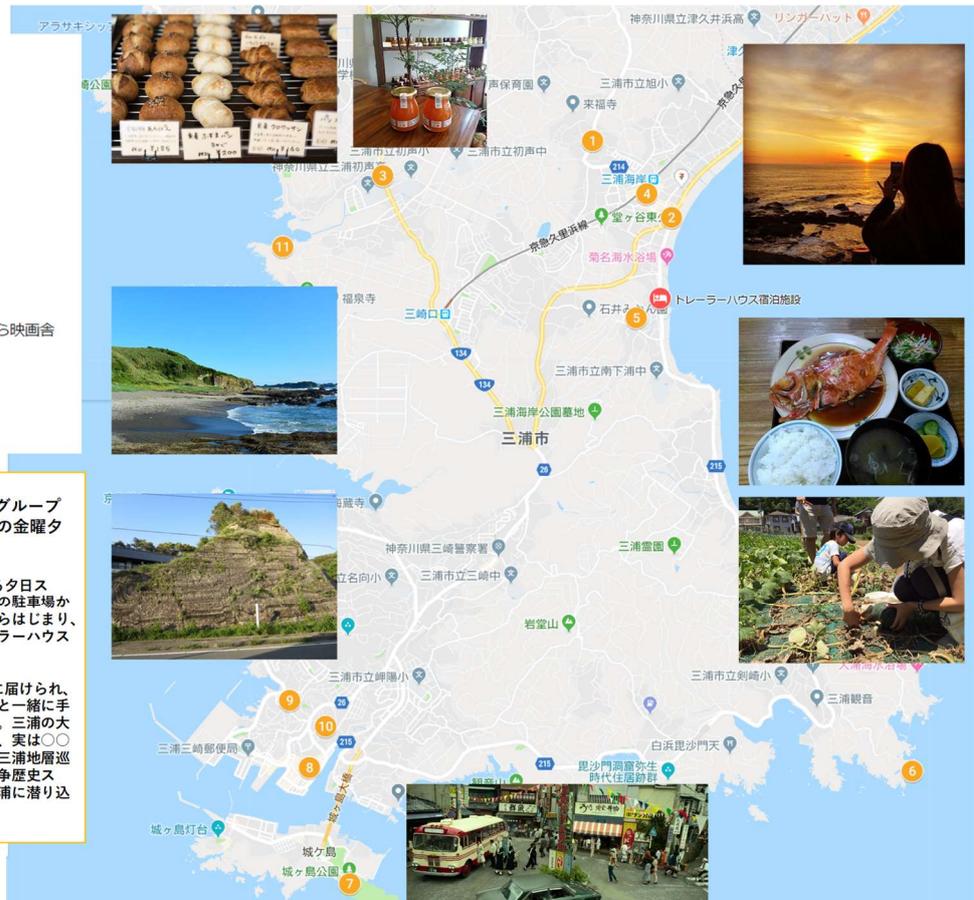
PlanB

- 1 絶景コンビニ
- 2 漁火亭
- 3 充麦のパン宅配
- 4 手土産いろいろ三浦ストア
- 5 石井農園
- 6 地層巡り/鋸崎
- 7 地層巡り/城ヶ島公園
- 8 ロケ地巡り/NPO法人 みうら映画舎
- 9 地層巡り/海外町
- 10 ロケ地巡り/日三崎中学校
- 11 ロケ地巡り/黒崎海岸

ターゲット：都内在住女子グループ
プラン名：都会のOLのための金曜夕方からプラン

1日目は地元の方だからこそ知る夕日スポット、三浦海岸の某コンビニの駐車場から畑越しの富士山と夕日鑑賞からはじまり、漁師食堂で夕飯。徒歩でトレーラーハウスへ

2日目は地元で人気のパンが宿に届けられ、近くの直販所から仕入れた野菜と一緒に手作りディップ&ジャムで朝食を。三浦の大規模農園で収穫体験をした後は、実は〇〇な三浦を体験ということで、「三浦地層巡り」「撮影スポット巡り」「戦争歴史スポット訪問」などディープな三浦に潜り込む時間に・・・



2)- 4 第四回イベント:

第四回イベントでは、実物のトレーラーハウス(ルーメット)をイベント会場に設置し、参加者にはトレーラーハウスの中に入ってもらうなど、使用感や居住性を体験してもらった。そのうえで、トレーラーハウスを活用したプロジェクトに対するアイデア出しワークショップを行うことで、より現実的なプランに関する議論が行われた。

参加者:11名

・SNS告知による参加:7名(自社運営 Facebookのみ)

・その他:4名

参加者からのヒアリング結果

- ・本物のルーメットに実際に乗車することができて、本物のイマジネーションを感じる事ができてとても良かったです。
- ・ワークショップでツアーを考えることによって、リアリティーを感じながら三浦を考えることができた。
- ・アイデアの出し方や、プロジェクトの進め方について、いろいろなことを考える機会をいただきました。
- ・ルーメットは使い勝手がよさそう。カスタマイズしやすいのと移動がしやすいのがメリット。アイコンとしても良いので、コミュニティハブになりやすそう。
- ・三浦のことははじめてなので何も知らなかったのですが、まちなみやまだ見たことのない魅力を伺い知ることができたのが良かった。ルーメットがかわいくて、広くて、そこで泊るのは楽しそうだと思います。
- ・ルーメットの実物が見れたことで発想が広がる。三浦に住んでいてもアピール場所がわからないことが多いので、改めて確認することができた。

イベント実施内容・タイムスケジュール

	時間	2019年3月3日		
	当日 スケジュール	14:15	受付開始	
14:30		開始 イベント趣旨説明・ミネシゴさんご紹介	10分	
14:40		トレーラーを用いた事業構想・これまでのイベント紹介	15分	
14:55		トークセッション 三浦のコンテンツについて	25分	
15:20		質疑応答	10分	
15:30		ワークショップ説明	5分	
15:35		休憩	5分	
15:40		ルーメット見学(花暮岸壁)※グループで移動。終了次第ワークショップへ入	15分	
15:55		ワークショップ	45分	
16:40		会のまとめ	5分	
16:45		移動	5分	※雨天の場合は「本と屯」で飲食
16:50		夕日とともにRoomette見学会 サンドイッチ、スープを用意	30分	
17:20		アンケート記入	10分	
17:30		閉会	※ルーメット18:30撤収	



第四回イベントの様子

計画変更の要因

当初は、プラン①を主軸とする事業の予定であったが、参加の仕掛けを通して得られたニーズや、コスト面の制約から、プラン①(農体験に特化したトレーラーハウス宿泊事業)と並行してプラン②(回遊型のトレーラーハウス宿泊事業)を計画した。

計画変更の理由1:多様な三浦らしさに関するニーズの把握

「農体験プログラム」の企画、宿泊施設づくり等を目的としてイベントを実施したが、イベントを通じて、農体験に限らずに、三浦らしさを感じられる多様な旅を楽しみたいという意見を多くいただいた。イベントでの意見(抜粋)

- ・三浦半島をトレッキングで横断するのは楽しい。東西両方の海や眺めを体験できる点は、半島ならではの魅力。
- ・こんな旅をしてみたい。「富士山がきれいに見えるスポット巡り」、「不動尊巡り」、「ロケ地巡り」、「灯台巡り」など

計画変更の理由2:スケジュールの遅れ

当初購入を予定していたトレーラーハウスのコストが想定よりも高く、車両の再選定など、事業計画の変更・再検討が必要となったため。

また、トレーラーハウスを用いて宿泊事業を行うには、各種手続きなどについて未だ複雑な点が多く、当初の予定よりスケジュールが遅延した。

事業進行のハードルとなった点

- ・自動車登録時に登録した牽引車でしか、運用後、トレーラーハウスをけん引できない。
- ・トレーラーハウス(けん引される部分のみ)の車検を実施できる整備工場が少ない。車検の際、陸運支局までの往復がネック。
- ・シャーシのみ購入し、上部構造を製作する場合、両者の接合部の安全性の確認結果によっては、けん引業者にけん引を拒否される可能性もある。コンテナロック型のシャーシは、拒否される可能性は上記ケースより低い。
- ・シャーシのみ購入し、上部構造を製作する場合、製作場所が必要となる。本計画(Mさんとの計画)においては、計画地と製作場所が同じ敷地であったが、仮ナンバーの有効期限内(3か月以内)に製作し、けん引して、陸運支局へ持ち込むこととなる。陸運支局までの距離や、けん引車両の検討が必要。
- ・自動車登録の際の陸運支局での検査が通らなかった場合、けん引の手間が余計に発生するリスクがある。
- ・車検の際のトレーラーハウスの移動により、旅館業の申請内容と異なってしまう為、車検の度、旅館業営業申請(保健所への申請)をし直すことが求められる。
- ・トレーラーハウスを用いて旅館業を営む際、リネン類の保管場所が必要となる。計画するトレーラーハウスの大きさによっては、車内にリネン収納を設けるにはスペースが限られている。
- ・更地にトレーラーハウスを用いた旅館業を営む場合で確認申請を行わないためには、玄関帳場を建築物としてみなさないものとする必要がある。
- ・更地にトレーラーハウスを用いた旅館業を営む場合、上下水道、電気などのライフライン工事を実施する必要がある。

3)-2 プラン 2: 回遊型のトレーラーハウス宿泊事業

M氏が計画主体となっている宿泊事業と並行して、エンジョイワークスが主体となって「回遊型の宿泊事業」を企画。紹介用ウェブサイトの構築を行った。

① 事業構想

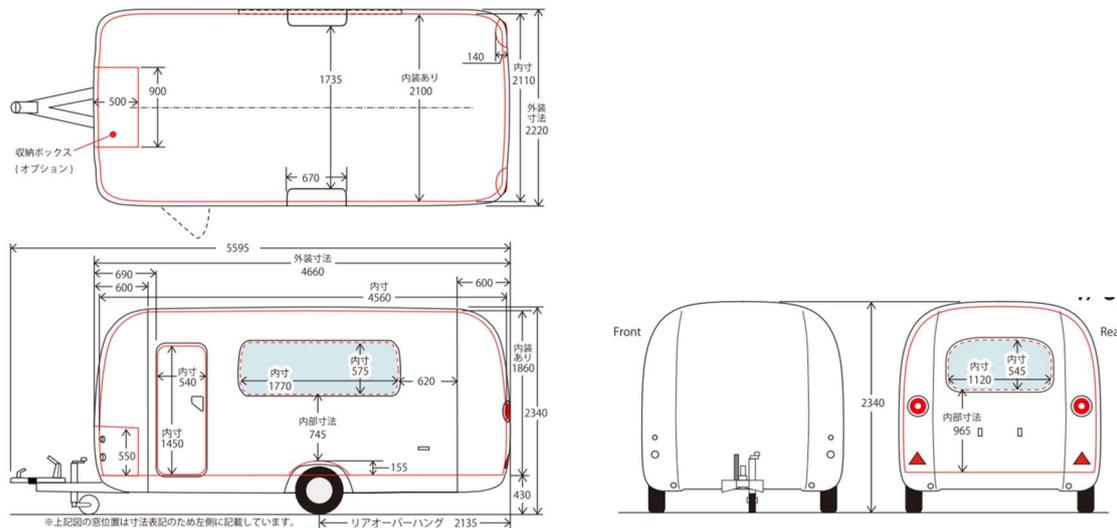
シャーシと上部構造が一体型のトレーラーハウスを活用して、滞在期間中に複数の空き地をホッピングする回遊型の宿泊事業を実施する。

② 事業のねらい

- ・今後空き地が増え続けることは、景観や土地活用の観点からは問題点ではないが、当事業により、空地の増加＝三浦の地を楽しむためのホッピング候補地の増加といった、価値の転換を図る。
- ・滞在期間中に複数の空き地をホッピングすることにより、三浦半島全体を楽しんでもらう(知ってもらう)。
- ・通常の観光体験とは異なり、三浦の自然環境や豊かな農山村的な景観の中で過ごしてもらうことにより、三浦の日常の良さを理解した関係人口を増やす。

③ 使用するトレーラーハウス(案)

シャーシ、上部構造を別々に購入して、製作する場合には、様々な課題があることが明らかになったため、最小限の設備変更で宿泊施設として利用可能である、(株)クロコアートファクトリーが製造した「ルームット」を車両として検討。



出典：http://www.crocoart-factory.co.jp/automobile/roomette_long.pdf
使用するトレーラーハウス(案)

④ 事業紹介用ウェブページの作成

回遊型のトレーラーハウス宿泊事業用に、事業紹介のウェブページイメージの作成を行った。事業内容、サービスイメージを示し、事業に必要な空き地情報の収集を行うことを主な目的とする。(URL: <https://hello-renovation.jp/hoppingstay/> ※3月14日公開予定)



地球が家になる。
自然が庭になる。

ホテルの立地に合わせて予定をたてるのはもう終わりにしませんか？
トレーラーハウスに泊まれば何にもとられない自由な過ごし方が可能に。
あなたのベッドからは徒歩0分で三浦の大自然にアクセスできるのです。



飽きたなら、次の場所へ。気分次第で即引っ越し

トレーラーハウスに差し込む朝日の光で目覚めたら、
黄昏時には半島の反対側で夕日を眺める、なんて過ごし方もいいでしょ。
ガイドブックにとらめっこはもういりません。

ウェブイメージ(1/5)

太平洋はプライベートビーチだ。



磯遊びが楽しい岩場の海岸、油壺（あぶらつぼ）。
釣り師が集う懸百崎・剣崎。
水辺と調和した手つかずの森をSUPで抜けると、広がるのは小網代湾。
大海原を独り占めしましょう。
運が良ければ夜光虫が幻想的に光る夜の海が見られることもあるんだとか。

絶景を待たない。 絶景を捕まえに行く。

三浦のローカルが教えてくれた海見えの絶景スポットは、
丘の上のコンビニの駐車場。
泥棒も足がすくみ捕まってしまうような
恐ろしい崖「盗人狩り」で度胸試ししてみたい。



見て、触れて、香りがして。 土地の恵みを全身で感じる時間。

視界いっぱい水平線まで広がるキャベツ畑は三浦らしい風景のひとつ。
眺めるだけでなく、三浦大根やかぶの収穫体験を。
土の香りがコンクリートに囲まれた日常の中で
忘れかけていた五感を取り戻させてくれます。

ウェブイメージ(2/5)



漁師小屋の朝定食は Aじゃなくて、B。

三崎のまぐろは有名ですが、
それだけじゃもったいない。
地元の漁師たちが集う漁師小屋の朝定食を
楽しんでみてはどうでしょう。
AよりB定食を選ぶのが「通」なのだから。
地引網や釣り堀のアクティビティで自分で魚を釣ってもいいし、
全田漁港の朝市で新鮮な魚を買って一夜干しをつくっても楽しい。
三浦の海が様々な魚の味わい方を教えてくれます。

そこにしか、 そのときにしかない出会い。

行きたい場所で思うままに楽しむ三浦はいつもと違う顔を見せてくれるはず。
撮影スポットとしても有名なあの海で波の音を聞きながら天体観測。
農家の方や漁師さんが教えてくれる郷土料理教室を訪ねてみたい。
三浦の人との出会いから、ふるさとに帰ってきたようなそんなあたたかさを感じられます。



今夜はどこで寝ようか。 語らいながら朝のコーヒーを。

見たい景色や翌日のアクティビティに合わせて寝床を考えるのも楽しみのひとつ。



ウェブイメージ(3/5)

とれたてを楽しむ。 大切な人と。

収穫体験をした後はその場でみんなで調理開始。
新鮮な野菜のグリルとフルーツのスムージー。
朝一でゲットした三浦産の小麦使用のホカホカでできたパンと一緒に。
こんな日はディップのソースやジャムも手作りにしたくなる。
レンタサイクルに乗り物をバトンタッチして三浦の食巡りもいでしょう。
知る人ぞ知る狭い道りを抜けると、自慢の味の数々に出会えます。



こんな事業を行いたいです！

「HOPPIN' STAY MIURA」では、三浦半島の魅力を最大限に体感できるコンテンツとして、トレーラーハウス等を活用した移動するホテルの事業化を検討しております。ユーザーは登録された三浦半島の空き地を自由にホッピングしながらの滞在を楽しむことができます。このプロジェクトは三浦半島エリアに住んでいる方、ご興味・ご関心のある方、または他エリアにおける同様の事業展開にご興味・ご関心のある方と一緒に進めたいと考えております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

三浦半島の「空き地」知りませんか？

現在、三浦半島エリアにおける空き地提供者を募集しています。土地の一部が使いきれずに余っている、お店を利用しての駐車スペースとして使っても良いなど、詳細はご相談させていただきますので「空き地」に心当たりある方は、下記お問い合わせボタンからご連絡ください。



HOPPIN' STAY MIURAとは お問い合わせ

CONTACT

[空き地オーナー様へ](#)

[お問い合わせ](#)

エンジョイワークス関連リンク

宿泊施設の運営

[HOSTEL YUJIGAHAMA + SORA BAR](#)

[The Bath & Bed Hayama](#)

その他施設の運営

[HOUSE YUJIGAHAMA facebook](#)

[Satellite YUJIGAHAMA](#)

[シェアアトリエSAOLAB](#)

建築設計

[エンジョイワークス一級建築士事務所](#)

[THE SKELETON HOUSE](#)

プロジェクト

[UNKNOWN.GO.IO-RAKUEN](#)

© 2019 株式会社エンジョイワークス ALL RIGHTS RESERVED

当ホームページおよびコンテンツは国土交通省により採択された「平成30年・空き地対策の推進に向けた先進事例構築モデル調査」により制作しています。三浦半島の空き地とトレーラーハウスを利用した宿泊事業の可能性を調査することを目的とし、2018年10月から全4回にわたりイベントを開催してきました。イベントには三浦半島にお住まいの方、このエリアに愛着を持つ方、農業などの事業に従事されている方など、多様な人々にご参加いただき、ガイドブックには載っていない知られざる三浦の魅力と、それらを活用した三浦らしい滞在のかたちを考えました。このホームページではイベントの結果より、空き地活用の新しいかたちとして、トレーラーハウスを用いたホッピング型の滞在スタイルの提案を行っています。

(3) 事業実施スケジュール

実施時期	取組	具体的な実施内容
8月、9月	事業実施の動き	弊社設計部での計画検討、検討内容の施工予定事業者との打合せ、保健所との事前協議、事業主体であるM氏との計画及び運営方針の協議、その他関係各社との協議、土地の賃貸借に係る土地オーナーとの協議
9月	イベント	10月14日の第一回イベント開催に向けての企画検討、地元紙折込チラシのデザイン、手続き
9月	ウェブ展開	SNSでの投稿計画検討、その他ウェブでの展開方法の検討
9月	投資型クラウドファンディング	ストラクチャーの検討、M氏への説明・打合せ
10月14日	イベント	「三浦海岸を歩いて、食べて、考えよう！」第一回イベント開催。駅から海岸沿いをまち歩き後、採れたてのカブを食べながら、地域の魅力を参加者からヒアリング
10月	イベント	二回目以降のイベント調整、検討
11月	イベント	「三浦の「食」ネットワークをつくろう！～地元の人が見える「食」マップ～」第二回イベント開催。参加者から、地元の「食」を中心とした魅力をヒアリング
12月	事業実施の動き	実施事業のコスト計画の見直しより計画全体を再検討へ。3月のオープン予定も5月にスケジュールも組立て直し
12月	イベント	「三浦版 みんなでつくろう！「観光しない旅のレシピ」」第三回イベント開催。三崎港エリアでの開催。三浦市全域を活用した新しい滞在の可能性を1泊2日のツアーを考えるワークショップから探る
1月	事業実施の動き	エンジョイワークスが運営主体となる「回遊型のトレーラーハウス宿泊事業」を追加事業として計画
1月	イベント	回遊型のトレーラーハウス宿泊事業に向けた、第四回イベントを検討・調整
2月	ウェブ展開	回遊型のトレーラーハウス宿泊事業の紹介用ウェブサイトの作成。
2月	イベント	「トレーラーハウスを使った空き地の活用を考えよう！」第四回イベント開催。参加者から、トレーラーハウスを使った、空き地の活用方法、活用場所に関する情報をヒアリング。

(4) 課題

- ・当初「農体験」に限定した宿泊プログラム検討を事業の主な内容としていたが、産業として確立している三浦の農業に対し、他産業の関係者が関わるには、多くの留意点があることが分かった。
- ・ワークショップを通じて、三浦在住の方からも、これまでに知らなかった三浦の魅力を体験したいといったニーズがあることや、トレーラーハウスと組み合わせた具体的な宿泊プランへの期待が確認されたが、具体的な空き地情報についてはあまり多くの情報が集まらなかった。
- ・不動産特定共同事業としての不動産投資クラウドファンディングを行う場合、不動産特定共同事業契約に基づき営まれる不動産取引から生ずる収益等の分配を行うため、宿泊料などからは出資者への分配(リターン)はできない。

(5) 提言

- ・トレーラーハウスを宿泊施設として活用するために、必要となる手続きについて(確認申請の必要性の有無など)、窓口段階では担当者によって対応が統一されておらず、手続きが滞ることがあった。トレーラーハウスなど、今後増加が予想されるモバイルハウスの申請手続きについて、窓口段階でも対応の定型化を期待する。
- ・トレーラーハウスは住宅とも車両とも扱われるため、建築基準法・道路交通法など複数の制度に適用される点が多く、あいまいな扱いとなっている。トレーラーハウスを利用した低未利用地の活用を促すためには、トレーラーハウスの様々な用途への利活用を前提とした、各種制度上の扱いを明確にする必要がある。

3. 今後の活動に向けて

農体験に特化したトレーラーハウス宿泊事業の計画

- ・4月中旬までに計画を見直し（関係者調整含む）
- ・5月にトレーラーハウス発注
- ・5月6月でクラウドファンディング
- ・6月に内装カスタマイズ、
外構工事(1.5ヶ月)
- ・7月中旬オープンを目指す

回遊型のトレーラーハウス宿泊事業の計画

- ・3月中旬ウェブサイトオープン
- ・5月末までに反応を探る
(4月にもイベント開催)
- ・夏にお試し運用し、仕組み化の検討
- ・2020年春からの運用を目指す